

溝西鐵鋼 株式会社

「鐵のまち 九条」から
鋼材加工製品を産地直送

納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
試作可
小ロット
量産
対応



束ね切断する門型押さえバイスを搭載したバンドソー

業務
内鋼材一筋62年
あらゆる加工製品を提供

大阪市西区の産業集積地「鐵のまち 九条」に拠点を置き、鋼材を販売する。H形鋼、等辺山形鋼、溝形鋼、平鋼などを切断する一次加工製品の販売からスタートした。地の利を生かして地域の約50社の協力会社と連携し、孔開け、曲げ、斜め切りなどの二次加工にとどまらず塗装までした製品を提供する。平成25年には孔開け加工の設備を導入し、自社内で切断加工と孔開け加工を行っている。

強み

大阪市内の好立地で、
束ね切り、長尺加工も対応

形鋼を中心とした各種鋼材加工製品を産業集積地の強みを活かして短納期で提供する。大阪市内の好立地に常時材料在庫を抱え、多品種、小ロットにも応える。門型押さえバイスを搭載したバンドソーで、H形鋼や山形鋼などを束ねた状態のまま切断でき、納期対応や千1万個ロットの数モノに強みを発揮する。2年前に導入した孔開け加工機は、アングル、チャンネルなどの長尺ものの孔開けに対応する。製品は8m、機械に二度通すことで最長12mまで加工できる。大阪市内の町工場では対応が難しい長尺加工を可能にした。



「鐵のまち 九条」にある本社

情報
発信鋼材加工の
産地直送サイトを構築

長年の経験と情報の蓄積で作り上げた協業ネットワークに、さらに多くの技術を集め、より広く発信できるようにと平成28年に「鋼材加工の産地直送サイト」を構築予定。平成27年度「おおさか地域創造ファンド」の採択事業として取り組む。地域の町工場から加工技術や加工にまつわるノウハウなどの情報を収集してデータベース化し、地域の持つ技術の見える化を行い、あらゆる加工が集積する「鐵のまち 九条」を売り込む。櫻井宏充プロジェクトマネージャーは「加工技術とユーザーニーズを結びつけるサイト」として育てて行く。

今後の
展望「てづくり工場組合」
立ち上げ

「これからの町工場はどうあるべきか」の答えを探すため、同社が中心となつて、大阪市西区九条界隈の町工場の後継者5名が集まり、「てづくり工場組合」を平成27年1月に立ち上げた。現在では組織としてのこれからの活動を検討するファシリテーションプログラムを月1回開催、町工場見学ツアーや大阪商工会議所とのコラボによる交流会の開催など、外部向けの活動にも取り組んでいる。経営資源の乏しい町工場は自社や自社製品を差別化することに限界がある。このため産業集積地の特徴である協業ネットワークや地域加工技術を広く情報発信し、「鐵のまち 九条」のブランド化に取り組むことで、街全体の活性化を目指す。

COMPANY PROFILE

溝西鐵鋼株式会社

大阪
27当社の
歴史

昭和28年4月に創業者溝西準吾により「溝西商店」として創業。昭和43年3月株式会社化し、昭和48年10月「溝西鐵鋼」に社名変更しました。「ともに学び、ともに成長し、人を高める」を経営理念に、社員全員のヒューマンスキルを高めて、お客様により良い価値の提供を目指します。

「老舗にして先端」創業62年の鋼材屋が、歴史ある地域の技術を生かした新しい取り組みをします。

代表取締役 溝西 廣子さん

■主な事業内容

鋼材の一次加工、二次加工製品などの製造・販売

■主な取引先（納入先）

建設用金属製品製造業者、産業機械部品製造業者、建設機械部品製造業者

住 所／〒550-0025
大阪市西区九条
南4-22-19

T E L／06-6581-3841
F A X／06-6584-2020

創 業／昭和28年4月
設 立／昭和43年3月
資本金／1,000万円
従業員／11名